

最優秀賞

A1-2 チームは、与えられた業務システムの現状を改善するシステム再設計課題に対し、保守性の高い高品質なマイクロサービスアーキテクチャ設計を完成させました。ドメイン駆動設計に基づくマイクロサービス設計に取り組まれるなかでも、サービス間連携の構造を明確化するためのヘキサゴナルアーキテクチャに基づくマイクロサービスアーキテクチャ設計など、先進的な設計手法を積極的に取り入れることで高品質な設計を実現しました。マイクロサービスアーキテクチャを実践する際には適切なサービス粒度の定め方が大きな課題となります。A12 チームはビジネス視点での分析結果を踏まえてドメインを分割しマイクロサービスを導出するという効果的な工夫をされました。加えて、各サービスを並行で開発する具体的なサービス開発状況を想定し、ヘキサゴナルアーキテクチャのようなアーキテクチャパターンだけでは開発チーム毎のアーキテクチャ設計を均一化することが難しいという課題を明らかにし、設計品質を均一化するための具体的なアーキテクチャテンプレートを新たに作成しました。このアーキテクチャテンプレートはマイクロサービス設計を実践する上で大変効果的かつ実用度の高い工夫であると言えます。

以上を高く評価して最優秀賞を与えることとします。

国立情報学研究所 GRACE センター長・特任教授

本位田真一